

アクセスガイド

車でのアクセス

- 札幌から
国道12号線
(約60km) 約1時間30分
国道275号線、月形経由
(約60km) 約1時間30分
北海道自動車道
(約53km) 約40分
- 旭川から
国道12号線
(約75km) 約1時間40分
北海道自動車道
(約72km) 約50分
- 富良野から
道道135号線
(約55km) 約60分
- 新千歳空港から
国道337号線、道道30号三笠栗山線経由
(約80km) 約1時間20分
北海道自動車道
(約99km) 約1時間10分

電車でのアクセス (JR美唄駅まで)

- 札幌から 35分
- 旭川から 50分
- 新千歳空港から 1時間10分

観光についてのお問い合わせ

美唄市経済観光課 電話：0126-63-0112 E-MAIL：kouryu@city.bibai.lg.jp
一般社団法人 ステイびばい 電話：050-1741-4683 E-MAIL：hello@staybibai.com

美唄市経済観光課

Webサイト ▶ <https://www.city.bibai.hokkaido.jp/soshiki/13>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/bibai.kouryu>
Instagram ▶ @bibaicity.keizaikankouka



Webサイト



Facebook



Instagram

一般社団法人 ステイびばい

Webサイト ▶ <https://staybibai.jp>
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/staybibai>
Instagram ▶ @staybibai



Webサイト



Facebook



Instagram



美唄

び ば い

食、自然、芸術が調和する街

北海道 美唄 ガイドブック

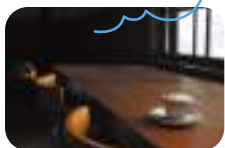


やすだかん 安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄

美唄の心のふるさと アルテピアッツァ美唄

「アルテピアッツァ」とはイタリア語で「芸術広場」を意味します。炭鉱が閉山になり、生徒が減少した「栄小学校」は閉校を余儀なくされますが、その後、美唄市と地元出身の世界的な彫刻家、安田侃氏によってこの場所は再生され、美唄の自然と炭鉱の歴史を称え、次の世代に繋ぐ場所として蘇ることになりました。現在は、屋内外に彫刻約40点が常設展示されています。安田侃氏の彫刻作品は実際に触っていただくことができますので、ぜひご来場いただき、唯一無二の芸術作品の魂を感じていただければ幸いです。

所在地：美唄市落合町栄町
休館日：毎週火曜日、祝日の翌日（日曜日は除く）
年末年始（12月31日～1月3日）
開館時間：9:00～17:00（カフェアルテは10:00～17:00）
※11月中旬～3月中旬の平日は、10:00～16:00
入館料：無料（任意で寄付をお願いします）
[アクセス] JR美唄駅から市民バスで約20分 タクシーで約10分。
美唄ICから車で約5分



ハンドドリップで淹れるコーヒーや手作りケーキ、軽食などあり、彫刻を鑑賞した後、ゆっくりとくつろぐのに最適な場所です。のんびりとした雰囲気のカフェアルテは、心の癒やしとなるに違いありません。



トリビア

記憶が息づく山

美唄市のある空知地方は、かつて全国有数の産炭地として栄え、日本の産業近代化に重要な役割を果たしました。
三井・三菱の二大財閥が経営する炭鉱が熾烈な競争を繰り広げ、1956年までに美唄には10以上の炭鉱が開鉱されました。炭鉱の閉山により、その黄金時代は終わりを迎えました。炭鉱の最盛期の記憶は数十年経った今でも生き続けています。

歴史

そらち 空知の歴史を示す炭鉱施設 炭鉱メモリアル森林公園

深さ170mの巨大な足場型坑槽（たてこうやぐら）は、もともと換気や石炭の運搬、坑夫用のリフトとして使われていました。真紅に塗られた施設は、美唄がかつて鉱山都市であったことを象徴しています。石炭を貯蔵する原炭ポケットも、施設の電源を管理する開閉所も、炭鉱の永遠の記憶として元の場所に残されています。

所在地：美唄市東美唄町常盤台
営業期間：5月～10月

美唄鉄道 東明駅舎とタンク機関車

美唄鉄道の美唄炭山駅操車場は1921年に開設されました。美唄鉄道は、三菱美唄炭鉱から採掘された石炭を輸送するため、西美唄の山間を通り、美唄、東明、盤の沢、我路、美唄炭山、常盤台（10.56km）を結ぶ軽便鉄道として1914年に開業しました。4110型タンク機関蒸気機関車は1919年に製造され、1972年に廃止されるまで、石炭列車として、また地元住民のための旅客列車として重要な役割を果たしました。10輪という特殊な配置は、急斜面を登るのに特に有効でした。この機関車は貴重な歴史的展示物であり、現在は旧東明駅の線路上に展示されています。

所在地：美唄市東明5条2丁目
見学サポート：5月～10月 第1日曜日 9:00～17:00
[アクセス] 道央自動車道美唄ICから道道135号美唄富良野線を我路方面へ車で約5分



美唄市郷土史料館



美唄市郷土史料館では、美唄の自然、産業、文化、生活の歴史に関するさまざまな史料を収集、保存、研究しています。特徴的な常設展やさまざま

な企画展を鑑賞することができます。
所在地：美唄市西2条南1丁目2番1号
営業時間：9:00～17:00
休館日：毎週月曜日

旧桜井家住宅



大正時代（1912～1926年）の貴重な木造建築物で、かつては親子二代にわたって美唄の首長を務めた桜井家の旧邸でした。

所在地：美唄市大通西1条北2丁目2番1号
開館日：5月～10月の水曜日と日曜日
営業時間：10:00～15:00 入館料：無料
[アクセス] JR美唄駅から徒歩5分



冬の体験

美唄スノーランド

札幌からJRで35分。雄大な自然が広がる美唄スノーランドは、本格的なスノーアクティビティを満喫できる絶好の雪遊びスポットです。スノーモービルやスノーラフティングなど、小さなお子様から大人まで楽しめるアトラクションが盛りだくさん。一面真っ白なフィールドの中で、北海道の雪遊びをお楽しみください。

所在地：美唄市字茶志内250-1

営業期間：12月上旬～3月中旬

定休日：1月～3月の期間に定休日設定あり

営業時間：9:30～15:30(最終入場14:00)

要予約：前日まで

最新の情報はWebサイトをご確認ください

https://www.alpen-group.net/bibai_snowland



美唄国設スキー場



美唄スキー場は札幌から車で約50分のところにあります。スキーリフトは1基と比較的小規模ですが、難易度別に5つのゲレンデが設けられており、あらゆる年齢層や技術レベルの方に楽しんでいただけます。すべてのゲレンデが山の北側に面しており、毎日極上のパウダースノーを楽しめます。

所在地：美唄市東美唄町番町

営業期間：12月中旬～3月下旬

毎日営業 (9:00～16:00)

ナイター営業：火曜日、木曜日 (16:00～21:00)



～触れるアート～ 安田侃の世界

こころを彫る授業

イタリアの北部カラーラで採れた上質な大理石などを使って自分の“こころ”を彫る授業です。美しい自然に囲まれた環境で、日々の忙しさを忘れ、心ゆくまで創作活動に没頭できます。完成した作品は唯一無二のあなただけの宝物になるはずです。石と向き合い、心と対話する特別な時間を過ごしませんか。経験豊富なスタッフがサポートしますので、初心者やお子様(小学4年生以上)でも安心して参加できます。

日時：毎月第1土曜日・日曜日の10:00～16:00

(※5月のみ第2週)

場所：安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄 内
ストゥディオアルテ



安田侃

安田侃は1945年に美唄で生まれました。東京藝術大学大学院で彫刻科を専攻した後、1970年にイタリア政府の招へいでローマアカデミア美術学校に留学しました。

ペリクレ・ファッツィーニ教授の指導の下、彫刻の腕をさらに磨いた後、現在は北イタリアにある世界的に有名な大理石の産地、ピエトラサンタを拠点に芸術活動を続けています。





みやじまぬま 宮島沼

ラムサール条約湿地 宮島沼

宮島沼は美唄市の西部に位置します。湿地の西側には石狩川が流れ、見渡す限り肥沃な水田が広がっています。面積は約25ヘクタール、水深1mと浅く、小さな湿地帯ですが、マガンやコハクチョウといったカモ科の渡り鳥にとって貴重な中継地になっています。そのユニークな自然環境から、宮島沼は2002年にラムサール条約の「国際的に重要な湿地」として登録されました。春と秋には約7万羽ちかくのマガンが宮島沼に飛来し、日本で冬を過ごします。これは、都市開発によって渡来地が減少していること、宮島沼の周囲が水田に囲まれているために外敵を見つけやすいこと、マガンの餌が豊富にあることなどが要因と考えられています。早朝に群れが餌場に集まり、日没とともにねぐらに戻ってくる姿は圧巻です。宮島沼とその周辺に関する詳しい情報については、宮島沼水鳥・湿地センターの情報をご覧ください。



美唄市のゆるキャラ マミーちゃん

マミーちゃんは、美唄を象徴する鳥であるマガンの「マ」、宮島沼の「ミ」、美唄のアイヌ語名ピパオイの「イ」から名付けられました。マミーちゃんは心優しいゆるキャラで、子どもが大好きです。もし見かけたら、恥ずかしがらずに声をかけてください。



宮島沼水鳥・湿地センター



所在地：
美唄市西美唄町大曲3区
営業時間：9:00～17:00
休館日：月曜日、祝日の翌日、
年末年始(12月29日～1月3日)
入館料：無料

※マガン最盛期は毎日営業(営業時間延長あり)



美唄でくつろぐ

とうめい 東明公園

桜とツツジが織り成すラプソディ

東明公園は、2000本の桜と5000本のツツジが咲き誇る公園としてよく知られています。国道12号線から東へ約4km、公園内の丘陵地帯の真ん中にある展望台からは、息をのむような花のパノラマを見渡すことができます。春の時期、4月下旬～5月中旬にかけては花見が楽しめます。4月下旬から5月上旬に開催される「びばいさくら(フェス)」と、夜桜が美しく輝く景観は必見です。



東明公園の多彩な自然の美しさは春だけでなくとどまらず、季節ごとに素晴らしい景色が楽しめます。夏には魅力的な蓮の花、秋には赤や黄色の見事な紅葉、冬にはクロスカントリースキーが楽しめます。また、5月下旬から6月上旬にはふるさとの見える丘展望台から菜の花畑も眺めることができます。

ピパの湯ゆ～りん館(温泉)

イタリアのカプリ島にある「青の洞窟」をモデルにした露天風呂です。空知平野と敏音知(ピネシリ) 岳の美しい眺めも楽しめます。

所在地：美唄市東明町3区
営業時間：7:00～21:00(最終受付 20:30)
[アクセス] JR美唄駅から市民バスで約15分
タクシーで約10分。美唄ICから車で約3分



トリビア

「美唄」の 名前の由来

美唄(びばい)という地名はアイヌ語の「ピパ・オ・イ」(「カラス貝がたくさんいるところ」という意味)に由来します。